

議会運営委員会会議録

(閉会中 令和3年2月2日)

長 与 町 議 会

長与町議会運営委員会会議録（閉会中）

本日の会議 令和3年2月2日

招集場所 長与町議会会議室

出席委員

委員 長	岩 永 政 則	副委員 長	浦 川 圭 一
委 員	中 村 美 穂	委 員	内 村 博 法
委 員	河 野 龍 二	委 員	竹 中 悟

欠席委員

なし

出席委員外議員

議 長	山 口 憲一郎	副 議 長	西 岡 克 之
-----	---------	-------	---------

職務のため出席した者

議会事務局長	富 永 正 彦	議事課長	青 田 浩 二
参 事	森 本 陽 子		

説明のため出席した者

町 長	吉 田 慎 一	副 町 長	鈴 木 典 秀
教 育 長	勝 本 真 二	総 務 部 長	中 嶋 敏 純
企画財政部長	森 川 寛 子	健康保険部長	志 田 純 子
教 育 次 長	山 本 昭 彦		

本日の委員会に付した案件

- (1) 令和3年第2回長与町議会臨時会について
- (2) その他

開 会 9時28分

閉 会 9時59分

○委員長（岩永政則委員）

皆さんおはようございます。定足数に達しておりますので、本日の議会運営委員会を開会いたします。2月9日招集の第2回臨時会の運営につきまして、会議次第により会議を進めてまいりますので、御審議のほどよろしくお願いを申し上げます。

初めに議長の挨拶をお願いします。

山口議長。

○議長（山口憲一郎議員）

皆さんおはようございます。都府圏におきましては緊急事態宣言が延長ということで、まだ決定をしてないものの延長になるんじゃないかということと言われております。結局、感染症はだんだん減ってきたものの、まだまだ中途半端で終われば、また元に戻るという形勢もありますし、本当に大変なことだと思っております。いろいろな面では厳しい状況が続いておりますけども、少し我慢のしどころじゃないかなと思っております。さて、今日は令和3年第2回長与町議会臨時会ということでございますけども、コロナに対しての議案かなと思っておりますので、しっかりと対応をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（岩永政則委員）

続きまして、町長から御挨拶をお願いします。

吉田町長。

○町長（吉田慎一君）

皆さんおはようございます。本日は大変御多用のところ、第2回臨時会に係ります議会運営委員会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。先程議長から御案内がありましたように、緊急事態宣言も11都府県では1月間延ばすということで2月7日までになりました。また、長崎県でも2月7日までは特別警戒警報発令を継続ということでございまして、現在長崎県でも1,530名の方が感染され、そのうち28名の方が亡くなっているということでございまして、まだまだ予断を許さないというところがございます。本日はそういうことでございますので、関連の内容の提案をさせていただきたいと思っておりますけども、ひとつどうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（岩永政則委員）

ありがとうございました。それではまず令和3年第2回長与町議会臨時会についてを議題といたします。提出予定議案につきまして、町長より概要の説明を求めます。

吉田町長。

○町長（吉田慎一君）

先程申しましたように、今回の臨時会では新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算の議案をお願いするものでございます。提案内容につきましてはこのあと、所管の部長から説明させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○委員長（岩永政則委員）

それでは担当の企画財政部関係でございます。

森川企画財政部長。

○企画財政部長（森川寛子君）

皆様おはようございます。それでは、企画財政部所管の提出議案について御説明を申し上げます。議案第3号令和2年度長与町一般会計補正予算（第8号）です。これは新型コロナウイルス感染症対策事業としてのワクチン接種に係るもので、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ3,494万6,000円を追加し、補正後の予算総額を194億2,138万9,000円とするものです。よろしくお願いたします。

○委員長（岩永政則委員）

もう少し内容を詳しく説明できませんか。

志田部長。

○健康保険部長（志田純子君）

皆様おはようございます。それでは少し詳しく説明をさせていただきます。この事業は国の事業ということで実施主体は市町村になっております。ワクチンがただいまファイザーが来るという予定になっておりますが、このファイザーのワクチンが集団接種、そして個別接種というやり方で実施していきたいと思っております。集団接種につきましては、町内で基幹の拠点病院を2か所ないし3か所予定をし、4月から開始していきたいと思っております。当初、国の方は高齢者の方を3月下旬からというふうに考えておりましたが、先日、河野大臣の方から4月以降という話もきております。ただし、これにつきましては公文書の方ではまだ来てない状況ですので、今回の補正では当初予定どおり3月分も一応入れさせていただいております。はっきり分かってから4月開始となるかと考えております。個別接種の方は町内の医療機関の先生方に御協力をしていただいて、現在7か所ないし8か所の先生方が手を挙げてるような状況になります。ただし、まだ詳しいところが分からない状況ですので今後交渉をしていきたいと思っております。まだ分からない部分が多いので概算で出しておりますので、よろしくお願いたします。

○委員長（岩永政則委員）

ありがとうございました。それでは、ただいま説明がありました議案第3号は本会議即決にしたいというに思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

したがって議案第3号は本会議即決とすることに決定いたしました。

続きまして、会期日程につきまして説明をさせます。

富永議会事務局長。

○議会事務局長（富永正彦君）

会期につきましては2月9日火曜日の1日間を予定しております。

○委員長（岩永政則委員）

お諮りをいたします。会期日程案につきましては、ただいま事務局長から説明がありましたとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

したがって第2回臨時会の会期日程につきましては、以上のとおり決定をいたします。その他何か皆さん方からございませんか。

ないようでございます。

以上をもちまして、令和3年第2回長与町議会臨時会についてを終了いたします。

執行部の方お疲れさまでした。御退席を願います。

暫時休憩します。

(暫時休憩)

○委員長(岩永政則委員)

休憩前に引き続き委員会を行います。その他の協議事項につきまして御協議をいただきたいと思いますが、今、課長から配布をいたしておりますが、前回の議会運営委員会の記録でございます。課長に説明させますので、何か訂正がございましたら申し入れていただきたいと思います。

青田課長。

○議事課長兼監査事務局長(青田浩二君)

それでは、全員協議会への報告ということで、1月25日に開催されました議会運営委員会における予算決算特別委員会の状況ということで、まとめております。

まず、1が常任委員会の所管の構成等について。皆さん方の意見を書いております。一番上の河野委員、竹中委員のところちょっと説明をさせていただきますけれども、現行の総務文教常任委員会というところで、その上の段、住民福祉部・健康保険部というところにアンダーラインを引いております。そちらの方が移動しております。そして下の建設産業常任委員会、現行の建設産業常任委員会のところが教育委員会ということで、総務文教の方から教育委員会が移動したということで、移動した分につきましてはこのアンダーラインを引いております。2番になりますけれども、長与町基本構想に関する調査特別委員会終了後に全員協議会を開催し、上記の意見を報告して意見を聞くこととし、その意見を参考に検討していくということで決定をしておりますので、そちらの方を報告したいと思います。訂正等があれば教えていただきたいと思います。すいません、一つ訂正なんですけれども、中村委員のところの産業文教というところで教育委員会のところにアンダーラインを引いてませんでしたので、そちらの訂正をお願いします。

○委員長(岩永政則委員)

ただいま説明を申し上げましたけれども、何か意見なり訂正なりがありませんか。

ないようでしたら、2月9日に前々回と同じく、報告をするようにいたします。

ほかにないですね。

内村委員。

○委員（内村博法委員）

諫早市議会のコロナ対策ということで、対応が新聞記事に載っておりましたので、これを参考にしていただきたいというのが1つありまして、よろしく願いいたします。この新聞記事を配布していただきたいと思います。

○委員長（岩永政則委員）

暫時休憩します。

（暫時休憩）

○委員長（岩永政則委員）

休憩前に引き続き委員会を行います。今、内村委員からの新聞の切り抜きが配布されましたけども、内村委員から簡単に説明をしていただきたいというふうに思います。

内村委員。

○委員（内村博法委員）

参考にしていただきたいという趣旨でお配りしました。新聞の内容をお読みいただければ分かると思うんですけども、1月22日の長崎新聞に、諫早市議会は全員協議会でコロナ対応について会期日程の短縮と接触機会の軽減を図る新型コロナウイルス感染防止対策を決めた。1つは「議案の議決を優先するため、議案審査と採決を前倒し、その後一般質問を行う」というのが1つ。「一般質問では議員の出席を2分の1に制限して、他の出席者は別室に設けるテレビやインターネットの中継で視聴する」というのが主な改革です。「一般質問は4日間以内とする」。それから「会期全体は22日間ということで5日間短縮する」といったような議会改革を打ち出しております。我が長与町はどうすべきか、今後いろいろ検討の余地があるんじゃないかなと思います。特に一般質問を最後の方に回すという案は、非常に私自身は評価するものであります。最初に議案を優先してやると。一刻を争う議案であればなおさらのこと、できるだけ早く執行していただきたいというのが1つですね。平時の場合は別にそこまで考える必要はないと思いますけど、有事の場合はやはりそういう対策が必要じゃないかなと思います。一般質問については、この前、衝立、パーテーションを設けるということで話しましたが、諫早市が出席者数を減らすと。こういう方法で行ってますんで衝立は要らないね。そのところがちょっと違うということですね。ただ、議案の審議ではやっぱり衝立は要ると思うんです、本会議では。だからどっちがいいかどうか、検討する余地があるのではないかなと。これは私の意見です。もう3月議会も目の前に来ますから、どうするか、対応を決めていかないといけないと、こう思っているところでございます。

○委員長（岩永政則委員）

今、内村委員から説明がありましたとおり、ここに記載がありますけども、何かこの件について御意見ございませんか。ああそうだな、これをどうしようかなとか。衝立の件につきましては、前回の事務局でちょっと検討してくださいということで、この議運

の中で最終的に私から申し上げておりましたが、検討は一応しておるようでございます。何か報告するまでに至っておりませんか。

事務局長。

○議会事務局長（富永正彦君）

前回の議運でそういう話が出まして、事務局の方でも検討をさせていただきました。よその議会辺りを参考に見たときには、まず議長席の議長の前に1枚、それと演壇に1つ。そして一般質問の質問席に1つという所がほとんどでございまして、正直、その3か所に設置するだけで終わるのであれば、私はあまり感染対策としては意味がないだろうと、パフォーマンス的に置かれてるのかなという気はしてます、正直ですね。本来やるのであれば、議員の席、今2人掛けになってる席の間をパーテーションで区切ったりとか、逆に執行部の方が狭いですから、執行部サイドも全部衝立をせんと本来の意味はないだろうということ考えております。その部分について今現在、これまでは昨年の3月議会、6月議会から長与町の対応としては、一般質問については、今しているように2人掛けの半分が後ろに下がって密を避けるという対応をさせていただいております。一応、去年の緊急事態宣言の状態での対応で、私は十分ではないかなということで、現状そういうふうを考えておるところでございます。

○委員長（岩永政則委員）

どうですか何か御意見ございません。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

パーテーションはやっぱり議員の横と正面も要るんですよ。だからコの字型したやつを持っていくような形。それはもう作らざるを得ないんじゃないかなと思うんですね。だからさっき事務局長が言ったように前だけ1つずつ置いとって、はっきり言ってパフォーマンス。だからするんだったらコの字型のことをやってそれについて検討をしていただいた方が良くないかな。今、僕いつも後ろにいるけど、きついかそういうことは全く感じないんだけど。やっぱりその方が形としては良いです。ですから、できる範囲の形でするんであれば、そこまでやっていく。そういう意見です。

○委員長（岩永政則委員）

ほかの方。

河野委員。

○委員（河野龍二委員）

今、提案された諫早市議会の対策ですけど、確かに議案審査の前倒しっていうのが、議会の中でコロナ感染が広がった場合に、議案を採決する前にその半数がもしかかったとなれば議案の採決ができなくなるというところで、こういうふうにされてるのかなと思うんですけど。じゃあどうするのかっていうところですかね。町長提案がされて、すぐ委員会付託をして、委員会審査に入ってるっていう形になっていくのかなって思うん

ですけど。そうすると、今の議会の進行方法も大きく変えんばいかんというところになってしまいうで、今日出されてどれがいいのかなっていうのはちょっと判断がつきにくいなど。一般質問も2分の1にするというのが、やっぱり議会の成立の問題もあると思うんで、現状のままでいいのかなと、席を外して空間をとるところで対応できるんじゃないかなというふうに思うんですけど。前もちょっと議論になった、これを始めたときの条件ですよ。こういう状態だからこういうふうにしますっていう、今のコロナの環境の状況ですね。じゃあ今回こうしましたと。次回議会ではこういう条件だから元に戻しましたっていうふうな、どこでラインを引くかっていうところがやっぱり難しい。この間も、じゃあ今の状況を元に戻すっていうのは、どういう状況だから元に戻せるのかというふうなところが曖昧なんで。もし、これを決めるなら今の状況がこうだから、これを戻すにはこういう状況になったら戻すっていうのをちょっと確認しとった方がいいかなというふうに思いますんで、そこはまた議論が必要かなというふうに思います。ですから、先程言いましたように、ちょっと今提案されて、次回ぐらいでどういうふうにするかっていうのをちょっと持ち寄ったほうがいいんじゃないかなと、ちょっと今の段階では私もこうした方が良くという判断がつかないかなというふうに思います。

○委員長（岩永政則委員）

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

2つに分けて、一般質問については僕も諫早の方法なかなかいいなと思うんですよ。要は今の状況では議席にはついてないわけです、半分は。後ろにいるわけだから。後ろにいるも控室にいるも一緒です。議席についての定数になるわけですから、その辺の確認をとらないといけない。議場にいればいいということか、もしくは議席に座ってるのが数になるのか。多分、私は議席が結局その定足数という一応捉えてるもんだから。だから一般質問については、これは非常に合理的だなと思うんですよ。ほかの人は質問できませんので。それと理事者側も関係ある人たちだけの出席ということで、コロナ対策については非常に効果があるのかなと、ぱっと見た感じ、モニターもあるし、控室もあるし、そういう所に分散して座ってもいいしと思ってるんですけど。議案の分については少し審査をする必要もあるなと思うんですね。日にちを決めて審査をするわけだから別に問題は無いんだけど。これについても、道理からいけばやっぱりいろんな問題があるから、一般質問ももちろん大切だけど、大切な議案を先に優先させるというのも、これはなかなか良い方法だなと思ってます。個人的にね。今、河野議員が言ったように、いろいろ審査をせんといかんことがあるかもしれないけど。

○委員長（岩永政則委員）

一応この諫早の提案、良い面と、どうなるかなという感じもするんですけども、今日出して、これをどうのこうのという議論は一応持ち帰ってもう少し、現状うちの場合はコロナ対策ということで、一般質問の場合は半分が後ろに下がって密を避けるというの

を1つしておりまして、今、局長からも言いましたように前回から皆さん方の意見を聞いて検討してくださいよと、今、竹中委員が言われたように各人の仕切り、これと演壇の所のコの字の、そういうものがどうなるか予算等を含めて検討してくださいということで申し上げておりましたので、もう少し議長を含めて具体的に、3月に向けてしていただければというふうに思うんです。特に前回から申し上げておりますように、できるだけパーテーションをして、全員が自分の席でできるような本来の席に戻していくべきじゃないかという大きな目標がありますので、それじゃその何もせずに戻るということではこれはちょっと理に合わないわけですから、やっぱり何かの手立てをして、そうした上で元に戻すよということでない。住民に対する説明は全くできないということになりかねないので、議長を中心にして事務局含め予算を含めて、予算はねじれば出てくるはずですから、いっぱい残つとるというふうに思いますので、その点は3月に向けて、きちっと準備を進めていただきたいと思います。なお、諫早につきましては、先程言いますように持ち帰って、それぞれまた協議をする場もあろうというふうに思いますので、参考にするところは参考にしていいわけですので、良いところだけ取ればいいわけでございますから、そういうことで、この件については終わりたいと思います。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

本会議場のパーテーション等について検討、お願いしたいと思うんですが、その検討の課題の中に一つ入れていただきたいのが控室の、昼食をとるわけですね。定例会のときに。普段お茶を飲んだりとかするときにはできるだけ皆さん前にならないように座るんですけど、今こういうコロナ禍でもあるので、私も含めてそうですけど、外に食事に行かずにお弁当だったりをいただくようにして、そのときにマスクを外すわけですよ。ですので、できるだけ前に座らないように心掛けてはいますが、前に座らない状態で全部ってというのはなかなか配置的に難しいというのがあるので、飛沫感染防止で考えれば、ただ置くだけのアクリル板のようなものが真ん中に置ければ、一番マスクをしてない状況っていうのが感染になると思いますので、必ずして欲しいということではないんですけど、マスクをしてる状況は感染の頻度が低いというか、接触とか何とかがありますので何とも言えないところありますけれど、もし、検討の課題に控室のアクリル板のような簡易な物でできるようなものがあれば、その設置も考えていただきたいと思います。

○委員長（岩永政則委員）

一応皆さんお聞きですので、事務局を含めて実態をよく見て、ちょっと私の感じたのは、同じ机に集まらずにばらばらに座っていくといいのかなという感じもしたんですけども、実態を把握しながら検討して、併せて事務局に検討していただければと、必要なのかどうか含めてですね。ほかにないですか。

ないようでしたら、以上をもちまして本日の議会運営委員会を終了いたします。

（閉会 9時59分）